



玉江の教育

令和4年2月25日発行
鹿児島市立玉江小学校
第12号

玉江小学校だより

ホームページURL <http://www.keinet.com/tamaes/>

令和3年度鹿児島学習定着度調査結果

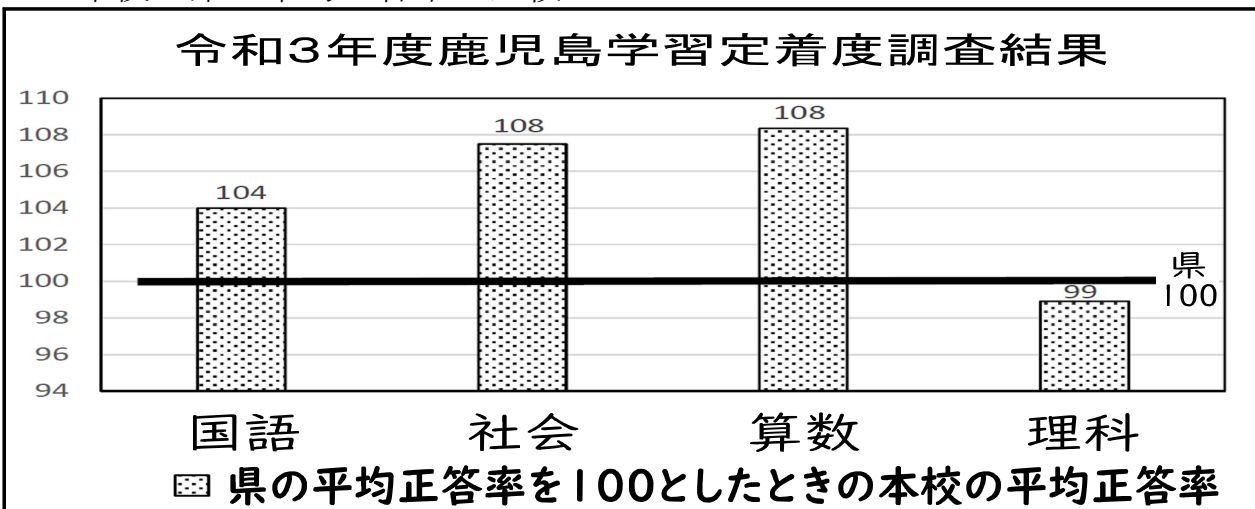
玉江小学校 校長 田邊 源裕

今年1月に5年生を対象に実施した「鹿児島学習定着度調査」の結果をお知らせします。本調査は、5年生までに学習した「基礎・基本」「思考・表現」の定着度を調査したものです。

5年生においては、4月当初から授業改善に取り組み、長い文章をじっくり読み取り、解答を出す過程を丁寧に文にしたりする「思考・表現」の学力向上にも努めて参りました。

その結果、本校の平均通過率は、すべての教科において県の平均正答率と同率またはそれらを上回る結果でした。全体的に無答が少なく、児童が本調査に意欲的に取り組んだ様子が見られました。以下に本校の課題に対する改善策をお示ししました。学校では、子供たちが社会に出て生きていけるよう「生きて働く力」を身に付けさせたいと考えております。各家庭では、家庭学習等の取り組みに生かしていただければありがたいです。

1 本校・県の平均正答率の比較



2 本校の課題に対する改善策

《国語》

長文の文章やグラフ、表を用いた資料から、必要な情報を読み取り、目的に沿って簡潔にまとめたり、自分の意見を書いたりすることについて課題が残りました。キーワードに線を引いて必要な文章を読み取ったり、主述や言葉を意識して書かせたりして、的確に読んだり書いたりする力を身に付けさせていきます。

《社会》

貿易や輸出入を地図やグラフを元に考える問題等について課題が残りました。問題に対して、地図、グラフ、写真、表など複数の資料を関連づけて表現する活動を積極的に取り入れます。

《算数》

比例の関係や図形と式を関連づけて考える問題に課題が残りました。少人数指導、習熟度別指導への対応や、図や考え方の過程を明らかにしたノートを取り方指導等を通して課題の解決を図ります。

《理科》

生命や地球、天気の変化の学習に課題が残りました。問題解決の授業を進めるなかで、予想や実験の計画・考察など主体的に考え、交流していく場面を設定し、子どもに十分思考させるようにしていきます。また、事象を説明する際、正しく伝わる説明をさせていきます。

「ピグマリオン効果」について

玉江小学校 教頭 有川 武

本年度もたくさんの研究授業が行われました。授業を終えた先生方に授業のよかったところをお伝えすると、「子供たちがすばらしいですから。」「子供たちが頑張りましたから。」という言葉が返ってきます。授業は教師だけではなく子供たちと一緒に作るものだとすることをあらためて実感するとともに、先生方が子供たちをたくさん認めてくださっていると感じます。

ある学級で担任の先生と話をしているときに、「この子たち、いい子でしょう。」とよく伝えてくださる先生がいっぱいいます。他の学校と交流学習をする際、ビデオで撮影した映像を担任の先生と一緒に編集していると、「この子たちかわいいでしょう。」という言葉がたくさん伝えてくださった先生もいっぱいいます。聞いている私もとても嬉しい気持ちになりました。

さて、「ピグマリオン効果」というのを御存じでしょうか。

簡単にお話しますと「人はそのように扱われるとそのようになる」というのです。例えば、お子さんを、「ダメだ。ダメだ」と、毎日叱ったとします。その結果、子供は本当にダメになるというのです。

そういう理論は、次のような実験の結果から出されたようです。アメリカの著名な精神科医のマックギニスという人が、子供の成績がふるわないのは、教師が「この子供たちはどうせできない子供たちだ」という考えのもとで、教育活動をしているからではないかという予想をしたというのです。

その予想のもとで、次のような試みをしました。

数人の子供たちの名前を教師に教え、「この子供たちは、きっと伸びる子供たちですよ。テストでは、すばらしい結果を出しましたから。」と伝えました。実は、それは嘘でした。その数人の子が、特別に優秀だという根拠は何もなかったのです。

しかし、次の学期になってテストをしたら、驚くような結果が出たのです。伸びるといわれた子供たちは、本当にすばらしい伸びを見せたのです。

これは、いったいどういうことかということ、子供の成長というのは、子供の能力だけではないということなのです。つまり、この試みでいえることは、教師の子供への接し方が異なっていたということなのです。この子供は伸びる、という暗示が与えられていると、教師は、伸びるはずだという意識で、それらの子供に接したのだらうというのです。だから、その結果、期待どおりの成績をおさめたのでしょう。ですから、うちの子供は、きっと伸びるだらうという考え方で育てれば、子供はうんと伸びるというのです。

御家庭でも子供たちの無限の可能性を信じ、プラスになる声掛けをしていただければ幸いです。

もちろん学校でも、子供たちの無限の可能性を信じ、プラスになる声掛けに努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底について（お願い）

引き続き感染症対策を徹底してまいります。子供たちが安心して学校生活を過ごすことができますように、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

あわせて、御家庭での感染症対策も引き続きよろしくお願いいたします。

- (1) 朝の検温を必ずし、「今日の調子はどうかなカード」の記入・提出の徹底をお願いいたします。登校後に、体調が悪くなったりした場合には、お迎えのお願いをすることもございますので御了承ください。
- (2) まん延防止等重点措置期間内、本人及び同居している家族の体調が悪い場合は、登校を控えさせてください。特に、のどの痛みやせき、鼻水、発熱などの風邪症状等が少しでもある場合は、家庭での安静や病院受診をお願いいたします。
- (3) 本人及び同居している家族がPCR検査を受ける際は、必ず学校へ連絡してください。また、その際は、結果が出るまで登校は控えさせてください。なお、学校閉庁の際は教頭に御連絡ください。

(連絡先：学校…229-5357、教頭・有川…090-4586-1046、教頭・美坂…090-6775-0137)

- (4) 欠席連絡は、**午前8時までに欠席連絡メール**で行うようお願いいたします。